

**ゼンショーホールディングス、  
「すき家」従業員の職場環境改善を目的に  
有識者による「職場環境改善促進委員会」を本日付で設置**

株式会社ゼンショーホールディングス（代表取締役会長兼社長：小川賢太郎 本社：東京都港区、証券コード：7550）は、傘下の株式会社すき家本部（代表取締役社長：興津龍太郎 本社：東京都港区）が展開する牛丼チェーン「すき家」の職場環境改善を加速・徹底するため、社外の有識者5名で構成する「職場環境改善促進委員会」を11月14日付で設置します。

職場環境改善促進委員会の設置は、「すき家」の労働環境改善に関する第三者委員会による今年7月31日の提言に沿ったものです。職場環境改善促進委員会は、現在取り組んでいる「すき家」の職場環境改善の進捗度合いを継続的に確認・評価するとともに、再発防止や信頼回復のため各委員の様々な分野の知見に基づく意見を集約し、ゼンショーホールディングス経営陣に提言することを目的としています。委員は以下の通りで、委員長の選任は委員の互選によります。第1回委員会を11月17日に催し、3月末を目処に中間報告をまとめる予定です。

今回の委員会設置について、小川会長兼社長は「7月31日の第三者委員会の提言を受け、ゼンショーホールディングスではすき家の職場環境改善に向けた改革を鋭意進めてまいりました。今回組織する職場環境改善促進委員会は各方面の経験豊かな識者の方々と構成されており、ゼンショーグループの次のステージに向け、価値あるご助言をいただけるものと期待しています。委員の皆様からの知見をいただき、さらなる飛躍への礎を築いていきたいと考えています」と述べています。

また、職場環境改善促進委員会を全面的に支援するため、ゼンショーホールディングス社内に、グループの役員と社員で構成する「グループ職場環境改善改革推進室」（室長：国井義郎ゼンショーホールディングス取締役グループ人事・総務本部長）も11月1日付で新設しました。グループ職場環境改善改革推進室は、最優先課題である「すき家」の職場環境の改善に関する情報を収集・集約し、経営陣および職場環境改善促進委員会に報告する一方、グループ各社の職場環境の改善改革にも積極的に取り組んでまいります。

職場環境改善促進委員会のメンバーの方々は以下の通りです。(五十音順)

北村 憲雄 (きたむら のりお) : (株) サンリオ取締役、元郵便事業(株)会長 CEO

四方 洋 (しかた ひろし) : ジャーナリスト、元サンデー毎日編集長

島谷 美奈子 (しまたに みなこ) : キャリアカウンセラー

白井 克彦 (しらい かつひこ) : 放送大学学園理事長、前早稲田大学総長

若狭 勝 (わかさ まさる) : 弁護士 (若狭法律事務所)、元東京地検公安部長

## ゼンショーホールディングスについて

株式会社ゼンショーホールディングスは、1982年6月に創業し、牛丼の「すき家」、レストランの「COCOS」、丼と京風うどんの「なか卯」、和食専門レストランの「華屋与兵衛」など外食店舗を展開するゼンショーグループの持ち株会社です。グループの総従業員数約10万名(契約ベース)、売上高4,683億円(2014年3月期)、店舗数4,863店舗(世界8カ国合計、2014年9月末現在)で国内の外食企業では売上高No.1であるとともに、世界の外食企業のなかでもトップ10にランクされています。「世界から飢餓と貧困を撲滅する」という創業以来のビジョンを実現するためにも、世界の食をリードする「フード業世界一」を目指し挑戦を続けています。原材料の調達から製造・加工、物流、販売までのすべてを自社の管理下で行う、ゼンショー独自のMMD(マス・マーチャндаイジング・システム)を構築し、お客様に安全・安心な食を、より手軽な価格で提供しています。詳しくはホームページ <http://www.zensho.co.jp/jp/>をご覧ください。